

暮老連 ニュース

*72号

暮老連の目的

ボケ防止のために、老人団体は好者の誰もが
「暮老連」に参加するが、本来のよう、機会と場所
を確保するために相談会を、開催を通じて親睦
を図り、更には、より良き福祉社会の建設に貢
献することを念願とする。

発行日 平成8年1月8日
発行所 八王子の暮老連じ老人連合
〒193 八王子市初張町1434-46
TEL (0426) 66-3754
発行人 熊崎正一

新年あめでとうございます

旧年中はいろいろと御迷惑にありありがとうございました。

街懇様ご、暮老連の業務も端りなく終うさせて復きましたが、これも皆へに感謝
御座のおりや会員各位の御協力の賜と心から感謝して行り、来年上記について改め
て御礼を申し上げます。

本年も大らしく御願い申し上げます。

平成8年元旦

八王子の暮老連じ老人連合

〃	相 会 員	役 員
〃	副 會 員	長
〃		長
〃		長
〃		長
〃		長

現 川 寿園善同好会次長

元八王子	〃
忍 沢	〃
中 野	〃
大 和田	〃
石 川	〃
田 井	〃
由 木 中央	〃
由 木 東	〃
北 野	〃
辰 房	〃

浦崎	永安木	藤野	千橋	本木	木田	山	山	浦崎
正	徳	鉄佐	保山	萬阪	入松	奥矢	寺山	正
継	宗	屋	萬阪	入	松	矢	山	継
若	正則							若
民								民
宗								宗
正								正
則								則

浩一郎二平次清文実勝光若英平寿美微
正継若民宗正則

義礼和俊福徳
義和俊徳

御 手 紹

沢山の方より賞状を頂戴し、誠に有難い次第と感謝しております。
手渡状を出すべきではございますが、予ねてよりの申合せにより暮老連の業務のために寄附させて
頂き、賞状と枚の度数關係の複数は算定困難等の理由の御付合いはお互いに見合わせる事にておりま
すので、失礼ながら本紙上を以て御挨拶させて頂きます。
悪しからず御了承下さい。

熊崎正一様

(1)

年頭の所感

昭和63年、ボケ防止のために暮の会を作ろうと決心して以来、早いもので“既に8回目の正月を迎えることになりましたが、其の間は志向議論の繰り返しで一向に実績を挙げず、能力の限界を思い知らされていろいろ反省次第にて、自らの不甲斐なさにつづく憂鬱が尽きたと云う心境です。

然しながら、熱心に街懇話会を開いて暮の会には大変申誠ない次第と深く反省しております。昨年末、気力も衰え会長を誰かに引受け頂きたいと考え、取りあえず、業務運営の執行機関として総合企画室を設置して体制の整備を図ることに依つておりまつたが、本年12月1日の臨時総会において会長職を辞任する予定であります。

ショット精道に遠北私事で巡回で方々暮の会を作ったことにも奥通があり御参考下さい。と云うのは、小生は昭和38年以来社会福祉事業の啓発運動に携つて参りましたが、昭和56年八王子市に転居以来中断の状態となつております。

所が、年々市事業を重視し業務も窮屈することになつておりましたので、どうしても暮の会運営係が一年を引かざるを得ない仕様となつてあります。誠に身勝手な申立て申証ありましたが、悪くいうと街の風土にさかづく御願い申し上げます。

然しながら、早速市報紙致しました老人園寮施設者を対象とした「アマナ全国老人園寮大会開催問題」に関しては、本年内に開催の目途を立てられよう、最後の御奉公のつもりで、萬事に難打つて微力を尽す所存であります。今後各位の御指導と御協力を期待しております。頼

アマナ全国老人園寮大会の開催推進に関する運動方針

1. 園寮は、ボケ防止としての効果は抜群と云われ、最近では「ボケ防止のために暮の会（まつしや）」との風潮が全国的に蔓延し、ある意味暖かんであります。

然しながら、老人園寮界の現状は、有職者の場合には各種の催しにより年時暮の会に至るまで出来ますが、無職者、特に低い級位の方々は暮の会の機会や相手にも恵まれず暮の会止めてしまつたと云う人が殆んどで、このまま不適反対選出は無職者の何倍と云う数字になります。結果的に仮定しまつて、老人園寮施設者60%位の人は来年退職後暮の会に来れないかも云つても過言ではないに思われます。

従つて看過出来ない問題ではなく、社会問題として捉えられるべきではないでしょうか。

かくより本規策で、全国老人園寮大会を開催したい次第です。

大会が実現すれば、園寮の普及と圧倒的な成果を得ると同時に、ボケ防止運動の実績も甚大なものとなることが確信しております。

2. 日本棋院の運営上に好影響を肴方に同時に、将来性塞の底堅福祉事業として社会的貢献度の絶大なものと期待されまつた。

3. 企業や役所等に来年新規に負担过大の年で退職金を払えば“お役”免めの考え方にも通用しない時代と見ており、社会奉仕の観点から厚生年金制度に対する福祉政策について何等かの協力を提供するが時代の流れと見て請われる。

(1) 従業団体、組合連、日本商工会議所、日本医師会、新聞・放送関係、全連連等。

(2) 保険団体、預保系、公保系、銀行系、運輸系連合会、NTT等

以上の通り新規の新規を申し述べさせて頂きましたがよろしく御願い申し上げます。

熊崎正一

八王子の基本集会員人連合名簿

平成8年1月現在 (平成元年11月12日設立)

集計表

団体名	会員	住所	電話	会員数
八王子の基本集会員人連合	熊崎 正一	初沢町	1430-46	66 3754
川内町基会員人連合	保屋野 正清	元町町	3-2581	64 0906 46
元八王子 "	山千 別文	上高井町	353-19	51 2835 25
恩方 "	西橋 実	下恩方町	1168	51 6753 21
中野 "	阪本 勝	大字中野	2-33-6	91 4074 39
大和田 "	八木 義光	大和田町	5-34-3-301	42 4093 31
石川 "	松田 礼治	久保山町	1-9-3-303	92 3873 20
甲井 "	奥山 和美	小比企町	207-1	26 3618 20
由木中央 "	矢田部 俊幸	南大泉	4-12-5-306	75 7522 33
由木東 "	寺本 福寿	松木谷	294-106	75 6966 17
北野 "	山本 徳美	北野台	2-31-9	35 4510 30
長房 "	小西 徹	長房町	230-17	63 7684 33
計	12名			315名

基会員連絡係役員名簿

平成8年1月現在

職名	氏名	所属	電話	職名	氏名	所属	電話
総務部長	永井 哲二	基会員	65 1384	総務部員	坂口 哲	坂川 61 8428	
指導員	小西 徹	長房	63 7684	"	清水 勇	元町町	63 2896
事務員	鷺田 高明	坂川	64 3351	"	西山 勝二	恩方	51 1402
事務員	中島 敏彦	坂川	65 3160	"	大木木 勉	中野	91 4457
部員	植松 四郎	坂川	25 2800	"	石田 利男	大和田	42 1738
"	石橋 久彌	坂川	63 5260	"	柳谷 譲男	石川	91 3336
"	立石 達	元町町	22 3271	"	吉田 國男	由井	37 3166
"	飯木 哲二	坂川	63 7293	"	佐々木 俊郎	跡中町	74 6667
				"	細谷 光重	由木東	76 9032
				"	佐藤 吉男	北野	44 2807
				"	松井 寿	長房	23 1047
計8名				計11名			

(3)

八千五市の60才以上の団碁爱好者数集計表

平成8年1月現在

区別	有段者実体						級位者実体	
	有段者数	ボウ防地区会員数(7年和)	級位者数	ボウアシテ 参加者	会員	非会員	級位者数	ボウアシテ 参加者
会員	非会員	計	会員	非会員	計	(級位者)	ボウアシテ 参加者	
川	46	21	127	37	24	61	66	12
江	25	22	47	21	10	31	16	10
方	21	9	30	14	3	17	4	2
野	39	32	71	35	9	44	24	18
和田	31	46	77	29	11	40	18	6
川	20	14	34	15	2	17	7	5
木中	33	27	60	27	4	31	23	10
木東	17	15	32	14	4	18	14	8
野	30	26	116	26	21	47	30	21
芳	33	54	87	30	14	44	29	10
井	20	48	68	20	18	38	32	24
安	0	46	46	0	16	16	29	12
計	315	480	795	268	136	404	292	168

この級位者292名に因るては、昭和63年の新規登録と並んで更に多く、其の後
の新規登録が進んでおります。

来年は更に先で“碁を樂しましていたのが、停年退職後は碁を持ちたいと思つてせ
む人会には団碁部が多く、碁会所へ行つても相手に居まつておらず、結局は碁を落として
しまう。団碁老人にとっては最大の悲劇と云ひざるを得ません。

八千五市内も碁老達の不帰を調査でも老人有段者が800人を1つでありますから、級位者床
との何倍もいる筈です。2つ目は無棋出来る問題であります。

→ ←

×6回ボウ防止のための整備期碁城川大会の開催

- 時 平成8年2月25日午前9時
 場 総合福祉センター(東城川町551-1, 電67-1331)
 位 磯川寺団碁同好会(会長 保原野正清, 元八王子町3-2581, 電64-0906)
 値 入生の碁を樂じて老人連合(碁老連)
 機 入生子市、八王子市教養委員会、日本棋院
 施設 磯川寺病院と駒場病院(室内及び、めじろ台、和田町、狹山町、せり町、元八王子町3丁目
 に在住している60才以上の団碁爱好者(10級以上)後援まで)
 費 600円(半券代金込)
 収支 別途150万円別途に行い、各クラス共3位までの入賞者に賞状を授与する。
 奨 旗縁により下記大會に推奨する。
 会場 8月25日の八王子大會
 特徴 センターの駐車場は狭いので、自家用車での来場者は御遠慮下さい。
 (4)

第3回基老連タイトル争奪戦の御案内

日 時 平成18年1月27日午前9時
 会 場 総合福祉センター(東浅川町55-1, 電67-1331)
 会 費 500円(劣等代金含む)
 タイトル 八王子名人(日本棋院杯), 八王子王座(NTT/建設店杯), 八王子初物(基老連杯)
 参加登録 地区タイトル保持者(下記の通り)

地区タイトル保持者

地区別	選別	名 人		王 座		天 石	
		段	氏名	段	氏名	段	氏名
浅川	前	7	栗田 敏次	初	栗田 信介	△	栗田 繁正
	後	初	栗尾 明	4	栗田 信夫	4	栗尾 進
元八王子	前	2	長瀬 広	4	片桐 正雄	△	延平烈
	後	5	清水 重	5	前橋 美	5	岡村 吉人
中野	前	2	大木木	2	小猪 久生	4	藤原 真
	後	5	役木 伸	2	石山 徳義	2	役木 義策
大和田	前	初	椎谷 伸	初	栗田 清次郎	3	宇喜多 久雄
	後	初	桜井 錠	初	山崎 忠男	3	小川 光之
田中	前	初	古川 中	2	阿部 博	初	吉田 国男
	後	3	福田 高	6	藤井 錠	2	鶴見 雄雄
日木	前	初	高橋 之人	7	名木 道寿	6	吳田節 俊早
	後	4	谷原 正也	3	菅野 達利	2	山林 薫
北野	前	△	山本 繁美	6	山本 浩三	5	早川 泰
	後	7	伊藤 実一	3	中村 康男	初	佐藤 吉男
泉井	前	2	山崎 修	初	佐本 梅立	7	小川 真
	後	5	佐藤 喬吉	6	小西 微	4	石川 信秋

< >

兼表紙の「団基連科室の記録」に因る補足の件

昨年末、電話にて水口謙雄様より団基連科室に因り、新年号に掲載させて顶くと云うことで御寄稿を断然い申し上げました所、御了承中に我慢らず早速御返事頂く有難うございました。

然しながら、御遠慮されかねて「どうかお忙なところお時間の御案内が入っておりませんので、勝手ながら添へ書きさせて頂きました。

フュニティハウス 沢久井綱

- 1.予約専用電話 0427(74)1282(担当 駒木)
- 2.団体(6名~150名)の場合、国電八王子駅前集合(迷路バス)予約制
- 3."団基宿泊大歓迎"1泊3食付6000円より
- 4.エントリー1時30分、エントリート3時

卷末連ニースオム男(7年1月8日発行)で御報告以来、10人前後のサークルで利用される方が非常に多く、御好評を受けています。あるサークルでは、昨年末2回目を行つて来ましたが、恒例の命中率と命中率に於けるとの御報告を受けています。御状態です。

新利用の場合は、出来だけが早且に宿泊を以つて御予約を此方より、他のため申込えてお送りす。

(5)

「神様が作った囲碁」

一口に「囲碁四千年」といわれている。その間いったい何局の碁が打たれてきたことだろう。まさに天文学的な数字に達することだろう。

ところが、それほど多く打たれつづけてきても同じ局面で終わった碁は恐らく皆無ではないかといわれる。「こんなに面白い碁だから、神様が作ったとしか考えられない」という人さえいる。

「囲碁の博物館がない!」

数千年にわたって、人類(囲碁ファン)が、勝った負けたと一喜一憂してきたのであるが、そこには気の遠くなるような長い歴史と文化が、たっぷりと積もり積もっているのである。まさに囲碁界の“厚み”といってよいであろう。

ところが、たっぷりある厚みを有効に活用できる囲碁の博物館がいまだに日本に存在していないのである。

考えてみると、われわれファンの手抜きといわれても、決して言訳はできない状況だ。いわゆる好敵手と日がな一日碁を打っていれば十分だし、適当に「週刊碁」や囲碁雑誌をながめていれば済むのであるから無理もない。

そうした風潮の中、長年ロマンを求めてきた私に、ヒヨンなことから有力なスポンサーが現れて、「アッ」という間に本邦初の「囲碁資料室」の室長におさまっていという次第である。

岩本九段につづけ!

今年93歳になる岩本薰九段は、私財を投げうって欧米に四か所もの普及センターを設立した。囲碁界広しといえども、だれにも真似のできない一大快挙である。

岩本九段が海外普及なら、私は囲碁の史資料を集め囲碁界に役に立てみようと思い立った。日本棋院在職中から、小遣いは無論、はては退職金の前借りまでして、棋書から囲碁図のある浮世絵や絵皿にいたるまで、片っ端から集めだしてしまった。高価なものに手を出すことはかなわなかつたが、かれこれ合計三千点は集まつたろうか。

何の脈略もなく、手当たり次第やみくもに収集したうえ、収納のことまで気を配らないものだから、狭い家の中は本とガラクタの山。何度もナダレが発生したものである。

資料を活用しようにも、どこに何があるのか、さっぱり分からぬ状態であった。

「救いの神が現れる」

私の窮状を見かねたのかどうか、救いの神が現れた。平成六年秋から開設されていた、囲碁を中心とする研修宿泊施設「コミュニケーションハウス津久井湖」の親会社、三栄商事株式会社の室町正夫のご好意と多くの友人の勧めもあって、同所に小さな「囲碁資料室」を開設していたのである。

いかに小さくとも、“本邦初”ということもあって、日本経済新聞ほか、多くのマスコミに採り上げられ、大きな反響と共感を呼ぶことができた。

「こうした囲碁のコレクションを初めて見て、感動した」

「囲碁の奥の深さを見た思い」などといった声が寄せられ、意を強くした。まだ半年しか経過していないが、すでに多数の棋書や盤石などの寄贈を受けている。

こういっては失礼かも知れないが、囲碁の歴史や文化に関心のあるファンが意外に多くおられることが分かった。

私の小さな努力が、こうした形で報いられたということに、私自身が逆に感動している次第である。

21世紀へのプレゼント

今年1月11日、アメリカで打ち上げられた宇宙船で“日米の囲碁対局”が実現しているはずだ。

神様が発明した(?)囲碁が、四千年を経過して、ようやく“宇宙規模”にまで発展してきた。20世紀までの囲碁の歴史と文化の資料を、次の世代へ向けて、どれだけプレゼントできるのか。私のささやかな思いに賛同してくれる人が一人でも多く増え、ますます充実することを願っている。

(「津久井囲碁資料室」室長 水口藤雄
電話0427-84-6005 FAX 0427-84-6015)

21世紀への贈り物

水口
藤雄